笑顔　幸せ　みんなでつくる　あったかす

たかす議会だより 高鷲童

No.204
令和８年９月定例会号
2026年11月5日発行

（町花「マリーゴールド」の和名）　題字　松平さくら



共に未来を切り開く

次の世代につながる、まちの未来をともに考える

決算審議
町のお金、どう使われた？
P.2-8

一般質問
４人の論点は
町の課題を問う
P.11-15

委員会レポート
調査から
見えた課題は
P.16-17

研修レポート
質問力を高める
議会力にいかす
P.18-19

表紙　鷹栖高校の魅力向上へ　将来必要な資格は?

町のお金、どう使われた？

2025年度決算

数字から見るまちの現在地



2025年度の一般会計決算について町に入ったお金（歳入）と使ったお金（歳出）が適正に使われたのかを確認し、事業の成果や残された課題について審議しました。議会では、町民の皆さんの視点に立ち、よりよい町政の実現に向けて活発な議論を行いました。

歳入
75億5362万円

町税、地方交付税、国・道からの支出金など、町に入ったお金の総額です。

歳出
72億3507万円

福祉、教育、道路、農業振興、公共施設など、町のさまざまな事業に使ったお金です。

実質収支
2億8668万円

歳入から歳出を差し引き、翌年度へ繰り越す財源などを除いた実質的な収支です。

財政の状態を見る指標

経常収支比率

町が毎年、継続的に支払う経費（人件費、扶助費、公債費など）が、自由に使えるお金に対してどのくらいの割合を占めているかの指標です。

2025年度 87.1%

2024年度 88.0%

この割合が低いほど、新しい事業に使えるお金に余裕があり財政の自由度が高くなります。

⚠ 90%に近づくと、使えるお金の余裕が少なくなり、財政のやりくりが難しくなると言われています。



代表監査委員
小川 一也さん

監査意見

決算の審査にあたり、監査委員からは次のような意見が示されました。

❶ 財政は健全

各種財政指標は基準内にあり、健全な状態が保たれています。

❷ 将来への備えが必要

社会保障費や公共施設の更新など、今後の財政負担を見据えた運営が必要です。

❸ 料金改定の時期

水道事業は経常収支比率の低下、料金回収率が３年連続100%を下回っていることを考えると料金改定の検討時期ではないかと思われます。

鷹中生も決算審議を傍聴



教育、福祉、公共施設、まちづくりなど、町民の暮らしに関わるさまざまな事業について質疑が行われました。
修学旅行費の助成など、中学生自身にも身近な事業についての質疑もあり、町のお金がどのように使われているのかを考える機会となりました。

中学生の声

中学生の皆さんから
いただいた感想を紹介します



立場が違っても、よりよい鷹栖町のために真剣に議論していることに驚きました。これからは自分も町のことを知り、よりよいまちづくりに参加していきたいです。

3年A組
西川 宗佑さん



町の細かなことまで話し合われ、町のお金が暮らしを支えるために使われていることを知りました。自分も支えられていると気づき、議会を身近に感じました。

3年B組
村上 和馬さん

次のページからは、決算審議で行われた個別の質問と、それに対する答弁を紹介します。
議員がどのような視点で町の事業をチェックしたのか、主な内容を見ていきましょう。

議会はこう見た

決算審議では2025年度に行われた事業について、
63件の質疑が行われました。
成果や課題を整理し、今後のまちづくりに向けた視点から
「評価」と「期待」の2つの視点でまとめました。

評価

成果や前進が見られたもの

計画どおり進み、町の課題解決や住民サービスの向上につながったものです。

期待

今後の改善や工夫を求めるもの

さらなる効果を高めるために、見直しや工夫が必要と考えられるものです。

決算審議

町の１年間の仕事を振り返る決算審議。事業にどんな成果があったのか、課題は何か、今後どう改善するのか。議員がさまざまな角度から質疑した一部を紹介します。

期待 高齢者交通費助成 見直しは

高齢者交通費助成事業　379万円

内容 80歳以上、または70歳以上で運転免許を自主返納した人を対象に、バスカードまたはタクシー券1万円分を交付し、高齢者の日常生活に必要な移動を支援します。２０２５年度は対象８７３人のうち５８７人に交付しました。

197号 10頁

〈関連〉高齢者交通支援に関する斉藤議員の一般質問。

高齢者などの移動を支えるため、町営バス・道北バス・ハイヤーで使える交通券を交付しています。



青野 交付された方の利用率は4割台です。高齢者の移動手段を確保するため、利用者の声を聞きながら制度を見直す必要があるのでは。

健康福祉課長 今後、利用者への聞き取りなどを行い、きめ細かで使いやすい制度となるよう検討を進めます。

町長 公共交通全体や地域との連携も含め、移動手段の改善を検討します。

利用幅を増やして
公共交通以外でも高齢者移動支援があれば、生活する上で大変助かります。



北野地区
髙美 貞子さん

期待 公共交通 課題整理の成果は

総合交通対策事業　1311万円

内容 町内の公共交通の現状や課題を把握するため、町民４００人へのアンケート、地区ヒアリング、勉強会、意見交換会、セミナーなどを実施。利用者・交通事業者・行政が課題を共有し、公共交通計画の見直しにつなげます。

林川 公共交通の課題や解決の選択肢をどこまで整理でき、事業としてどのような成果がありましたか。

まちづくり推進課長 利用者、交通事業者、行政の相互理解が進み、課題を把握できました。調査結果や意見を公共交通計画の見直しに反映し、段階的に課題解決を進めます。

203号 11頁

〈関連〉公共交通に関する川原議員の一般質問。



2025 年度から、専門家である為国氏の指導のもと、公共交通の見直しを検討しています。

決算審議

評価 5歳児健診 親子で成長を確認

5歳児健診 6万円

内容 2025年度から、年度内に5歳になるお子さんを対象に5歳児健診を始めました。就学前の発達や生活面の様子を確認しました。


経済福祉常任委員会で「たーち」の現場を調査しました

川原 就学前に発達上の状況を把握し、早期の療育や支援につなげるという点で、どのような成果がありましたか。

健康福祉課参事 こども発達支援センター「たーち」で医師、作業療法士、保健師などが小集団での評価や診察を実施しました。

その中で支援等が必要なご家庭については、継続的な支援やアドバイスにつなげていきます。

期待 水道事業は赤字 経営見直しも

水道事業会計純損失 278万円

内容 水道料金などの収入で、浄水・配水施設の維持管理や水処理費用、職員人件費など日常的な水道事業を運営しています。2025年度は、損益計算書上で約278万円の純損失となりました。

〈関連〉 水道事業に関する林川議員の一般質問。203号8頁

上下水道事業審議会について


上下水道事業審議会では答申までに石狩川浄水場の視察など5回の会議を行いました

片山 決算報告書では収入が支出を上回っている一方、損益計算書では約278万円の純損失です。この違いは何ですか。構造的な経営改革が必要な状況と考えていますか。

建設水道課長 決算報告書には翌年度に還付される消費税などが含まれるため、損益計算書とは表記が異なります。水処理負担金などの支出も物価高で増えており、今後は経営効率化に加え、水道料金の見直しも検討する必要があります。

相応の負担 必要

委員になってはじめて分かったことも多く勉強になりました。老朽管の更新等もあり、相応の負担は必要と考えています。


上下水道事業審議会会長
濱村 良司さん

決算審議

期待 ツルハと物産館 効果は

商業拠点施設整備事業　4億1123万円

内容　町中心部の商業拠点として、ツルハドラッグと物産館「たかま～る」を整備。日常の買い物環境を充実させるとともに、町内産品の販売や新商品開発、交流やにぎわいづくりを進める商業拠点です。

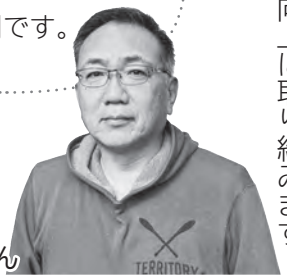


商業拠点施設は2025年11月にオープンしました

片山　商業拠点の整備には大きな投資を行いました。このうち、物産館「たかま～る」について投資効果の評価は。また、自立的な運営への手応えは。

産業振興課参事　物産館の11月から3月までの売上は約360万円で、月60万円の目標を上回り、来場者は1786人でした。独自商品の開発も進めています。売上は順調ですが、人件費などを含めて自立できる水準にはまだ達していません。今後も自立を目標に売上向上に取り組みます。

とても便利です
仕事帰り、ちょっとした買い物忘れに利用ができ、とても便利です。


北斗地区
水島 敏弘さん

期待 自転車ヘルメット 中学生の安全守る

自転車用ヘルメット購入費　39万円

内容　中学1年生に自転車用ヘルメット51個を配付し、自転車利用時の安全確保と頭部保護を図りました。

斉藤　事故防止や安全確保の面から、町は十分に効果のある事業と評価していますか。また、今後もこの配付事業を続けていく考えですか。

総務課長　自転車事故が起きた際の頭部保護につながることから、大変効果のある取り組みと考えています。将来的にヘルメットが必要なくなることは考えにくいため、今後についてもこの事業は継続していきたいと考えています。




安全のため、普段からヘルメットを着用してほしいです。

決算審議

評価 修学旅行費助成 保護者から好評

修学旅行交通費助成　63万円

内容 物価高騰による保護者負担を軽減するため、2025年度から小中学校の修学旅行にかかる交通費の一部を町が助成。鷹栖小、北野小、鷹栖中の修学旅行を対象に支援しました。

片山 実際に利用した保護者からの反応は。助成額を増やしたり、対象経費を広げたりするなど、さらなる支援を求める声は寄せられていますか。

学校教育課長 保護者負担が軽減され、大変好評と聞いています。現時点では要望は寄せられていません。

今後、要望が寄せられた場合は内容を聞き、必要な対応を検討していきます。



〈関連〉修学旅行費の支援について片山議員が一般質問。

196号 18頁

期待 紙ごみの回収減 分別周知を

リサイクルセンター1号棟管理事業　1379万円

内容 リサイクルセンター1号棟で、缶、びん、ペットボトル、紙製容器包装などの資源ごみを選別・処理し再資源化しています。2025年度の飲料用以外の紙製容器包装は13・63トンでした。

川原 紙製容器包装の回収量は、専用袋を使っていた頃の約21トンから約13トンまで減っています。専用袋を廃止した影響をどう分析していますか。また、広報紙や出前講座で周知しても分別方法が十分浸透していないのでは。

町民課長 専用袋によって分別意識は高まりました。

現在はビニール袋などでも出せるため、その方法を改めて周知します。出前講座や広報紙でも説明していますが、十分に広がっていない面があります。燃やせるごみには生ごみと紙類の混入が多く、今後も分別を丁寧に呼びかけます。



紙製容器包装ごみ専用袋は2022-2023年度に配布されていました

こんな質問もありました 生ごみ処理機 助成の効果は

生ごみ処理機等の購入助成は、当初予算19万円に対し決算45万円となりました。内訳はコンポスト16個、処理機21台です。

片山議員の質問に、町は「家庭で処理することで、生ごみの総量削減につながる。多くの方に利用して欲しい」と答えました。

専用ごみ袋　復活を

以前配布された紙製容器包装ごみ専用袋は、大きくて利用しやすかったです。ぜひ復活してほしい。



鷹栖地区
蔵本 康子さん

決算審議

評価 空き家解体後 3件が新築

宅地流動化支援事業
480万円

内容 空き家などの解体を促し、跡地の売却や住宅建築につなげることで、町内の宅地流通と定住を促進する事業です。2025年度は6件を支援し、うち3件で売買が成立しました。





解体につながった一例です

桑原 売買が成立した3件は新築まで進んでいますか。開始1年目の事業を町はどう評価していますか。

まちづくり推進課長 6件のうち売買が成立した3件は新築済みです。残り2件も売買進行中です。2026年度も4~5件程度の利用が見込まれ、ニーズがあり順調に進んでいると評価しています。

若い世代の移住願う
鷹栖町の支援で土地を処分できました。負担が減り、若い世代の移住が増えることを願います。



町外在住
石崎 邦子さん

期待 中山間交付金 見直すべき

中山間地域等直接支払事業
2億1011万円

内容 農業条件が不利な中山間地域で農地を維持するため、地域の共同活動や農地管理を支援する交付金です。



林川 共同取組による農地改良は平地にも多く使われています。
本来の目的との整合を町はどう考えていますか。傾斜地の維持に、より重点的に使うべきでは。

産業振興課長 共同取組分45%を全町一集落として活用しています。2025年度の農地改良は面積では平地21%、傾斜地79%でしたが、金額では平地58%、傾斜地42%でした。今後は制度本来の趣旨を踏まえ、2027年度以降、交付金を原則として傾斜地に充てる方向で協議しています。

2026年
第3回
定例会

人事、新たな拠点
町の課題を審議

人事 上西副町長を再任／委員の任命に同意

9月定例会では副町長の選任や農業委員会委員と教育委員会委員の任命について審議し、それぞれ同意しました。



上西 義幸 副町長

引き続き副町長という重責を担わせていただくことになりました。

身の引き締まる思いと同時に、再び鷹栖町の発展のために尽力できる機会を頂いたことに感謝を申し上げます。

「笑顔 幸せ みんなでつくる あったかす」なまちづくりを目指し、職員と一丸となって各種施策にスピード感を持って取り組んでいきます。

【経歴】
1970年生まれ 56歳
1988年 4月 鷹栖町役場採用
2022年11月より副町長を担う



藤原 卓さん

教育委員会委員

任期:2026年10月1日～
2029年9月30日

学校教育や社会教育など、町の教育行政に関する重要事項を審議します。

佐藤 守さん

農業委員会委員

任期:2026年9月30日～
2029年7月19日

農地の利用調整や、担い手への農地集積など、地域農業に関わる役割を担います。

定例会のあらまし

議案一覧

9月15日・16日、一般質問のほか、条例改正や補正予算、決算認定などを審議し、すべて全会一致で可決。意見書案2件も可決しました。

取得 まちなかに「挑戦できる場所」チャレンジショップ整備へ

物産館「たかま～る」がある商業拠点内にチャレンジショップを整備します。

ムービングハウス(移動式の建物)を町が取得します。



イメージ図

どんな場所になる?

「やってみたいを、やってみる」をコンセプトに、お店をやってみたい、イベントを開いてみたいなど色んなやってみたいが集まり、人と人が出会い、新たな楽しみや交流、賑わいが生まれる場所を創出します。

チャレンジショップ概要	
所在地	鷹栖町北1条2丁目723番5 物産館たかま～る敷地内
建物	ムービングハウス 木造平屋建て
床面積	27.09㎡
取得金額	2200万円
契約相手方	株式会社アーキビジョン21

← 裏面（10ページ） 農業振興公社の経営・意見書・議員報酬

報告

農業振興公社の経営

2025年 猛暑の影響で「オオカミの桃」製造量減

2025年度は原料トマトの収穫量は約103t減少しています。製造量が約6万1千本（前期比30％）減少となりました。

作付本数の減少や担い手不足も課題

苗の購入等に補助を出していますが、作付面積が増えていません。



振興公社のトマト生産部門では
直営農場を２箇所運営しています

新品種の選定により収穫量の増加を目指す

2028年からの新たな品種による「オオカミの桃」製造に向け、公社やあったかファームで原料トマトの試験栽培が行われています。

トマトの生産部門の赤字を質す声も

林川議員の質問では公社のトマト生産部門の営業損失は514万円であり、赤字が改善されていないことがわかりました。

公社としてはジュースに加工することで利益が生まれます。



物産館「たかま〜る」でも
「オオカミの桃」を購入できます

赤字の主な要因は減価償却費です

※減価償却費とは固定資産を購入した時、その代金を耐用年数に分けて毎年少しずつ費用として計上する経費のこと

意見書

2件の意見書を提出

意見書案第17号〜18号

意見書
全文はこちら

備蓄米水準の早期回復と北海道農業の生産基盤を守るための対策を求める意見書

①備蓄米の早期回復と生産者が営農を継続できる米の経営安定対策
②ジャガイモの病害虫侵入による農業基盤への深刻なリスクを防ぐため生食用ジャガイモの輸入解禁の反対
を求める内容です。

国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書

災害発生時の迅速な復旧体制の必要性と、冬期における交通確保のためのインフラ維持が急務です。人員体制の充実・強化や除排雪に必要な予算の確保等を求める内容です。

報告

議員報酬調査特別委員会が調査結果を報告

議員報酬は月額2万2000円増

物価上昇を踏まえ、現行の月額16万5000円から2万2000円増額することが適当との意見をまとめました。

10月9日、議会から町長に要望書を提出しました。

主な意見

- 将来のなり手不足を考え、女性をはじめ多様な人が議員を目指せる報酬を検討すべき。
- 政務活動費がなく、議員活動が多様化・増加する中、活動量に見合った報酬を考える必要がある。
- 議員活動をより見える形にし、町民の理解を得ながら検討すべき。

一般質問

4人の議員が町政を問う

斉藤 哲子



支援必要な子へ 充分な教育環境を

青野 敏



働きやすい職場づくりと人材確保

阿戸 伸一



鷹栖高校の存続へ、魅力づくりを

片山 兵衛



ひきこもり支援の進め方は

争点の提起

一般質問は、各議員が行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問を質すことで、現行の政策を見直し、新規政策につなげる重要な活動です。鷹栖町議会では一般質問を議員個人のものではなく、政策資源として活かすことを目指しています。



鷹栖高校生が議会を傍聴

鷹栖高校１年生の皆さんが、一般質問の様子を傍聴しました。
終了後には、議員に直接感想を述べていただき貴重な機会となりました。

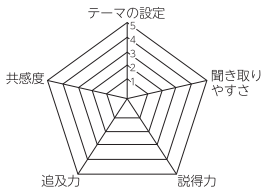
私も高校に
貢献しようと
考えました。

初めて議会に来ていろいろ
なことを学ばせてもらいま
した。よい経験になりました。

あまり触れることの
ないことだったので
知ることができて
よかった。

通信簿の評価

一般質問の通信簿の結果は平均点をレーダーチャートで掲載しています



傍聴者の声（傍聴者アンケートより）

傍聴者を増やすため、議員活動として、議員自身がもっとPRしてはどうか。

質問項目増やさないと自己主張、演説会になってしまう。

事前に質問内容を語る動画や質問直後の感想動画を配信中です

【ひとことコーナー】傍聴者の方からのコメントの一部を原文に近い形でページ下部に掲載しています。

働きやすい職場づくりと人材確保

町長　進捗管理と環境改善で組織強化



職員が元気に働けることが、よりよい町づくりにつながります

人口減少の中で町民サービスを維持するには、職員が健康に働ける環境づくりが必要です。
本町では特定事業主行動計画を策定し、年休や育休の取得促進や時間外勤務の縮減など、職員が仕事と生活を両立できる職場づくりに取り組んでいます。
第2期計画の成果と課題を第3期計画へどう反映しましたか。

町長　第2期計画では年休の取得促進について目標を10日とし、実績が13日を超えています。
育休については女性職員の取得は100%となった一方、男性職員の育休は目標に達していません。
相互応援体制の確立や進捗管理の徹底に課題があったと認識しています。
第3期計画では年休の14日以上取得や男性の育休1週間以上の取得85%以上を目標とします。
実施状況を確認し、進捗管理を重視します。

第3期特定事業主行動計画はこちら

年次休暇の取得促進策は

質問　**年休の平均取得日数は2024年度11・9日、2025年度13・2日と増加傾向ですが、取得日数が少ない職員もいます。**
業務多忙や属人化、部署間の応援体制など組織的要因を分析し、改善していく考えは。

町長　休暇の取得については職員本人の意識だけの問題とせず、業務や職場側の要因についても確認し、改善につなげることが重要です。取得が少ない職員や部署については個別に分析し、その背景に応じて改善を図っていきます。

男性の育休取得推進は

質問　**目標達成に向けた体制づくりは。**

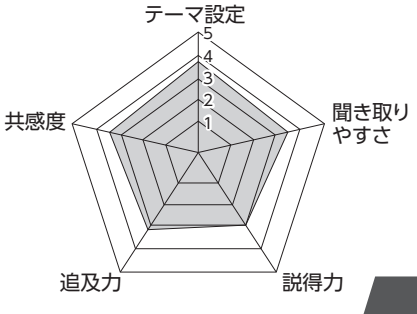
町長　2024年以降男性の育休の取得率は33%で平均取得期間は約1か月です。制度周知や業務調整を継続するとともに、対象となる職員の意向を早い段階で確認し、希望する場合には業務分担や必要な人員体制の調整に努めます。

人材確保定着への継続策は

質問　**第3期計画の取組みを組織戦略として位置づけ、人材確保・定着について継続的に進める考えは。**

町長　人材確保・定着については、今後も継続的に把握、検証していきます。
第3期計画で進める年休の取得促進、仕事と家庭の両立支援、時間外勤務の縮減に取り組み、職員にとって働き続けたいと思える環境づくりを進めます。





青野（あおの）　敏（さとし）　議員

「質問の順序を変えたら良いと思います。職員提案の内容聞いて欲しかった」「個人の問題におきかえていけるところがムズカシイ～」

ひきこもり支援の進め方は

町長　健康福祉課を中心に一体となって対応

用語解説　個別避難計画とは

災害時に高齢者や障がい者など自力避難が難しい人（避難行動要支援者）ごとに「誰が支援し、どこへ、どう逃げるか」を検討し記載しておく計画です。



北野コミセン防災会議メンバーがあったか食堂とコラボし、避難所レシピで鷹栖トマトスープを作りました。

町はひきこもりを重点課題と位置づけています。実態調査では約30人が対象となりうるとのことでした。

地域福祉計画の目標「年1回以上のアプローチ」は誰が担い、どのように必要な支援へとつなげる考えですか。また、必要に応じ体制を強化する考えは。

町長　健康福祉課を中心に、町やプロジェクトチーム、関係機関が一体となって対応します。高齢化や家族関係の希薄化で孤立する前に早期の支援につなぐ必要があります。

2027年度は保健師を1名増員し、地区担当保健師としての活動も含めて体制を整えていく方針です。

質問　**こども発達支援センター「たーち」新設にあたり、ひきこもり支援につながる新たな機能を持たせる予定はありますか。**

また、18歳を境に支援が途切れないよう、どのように引き継ぎますか。

町長　ひきこもり支援に特化した機能を追加する予定はありませんが、相談支援を継続して行います。子どものひきこもり支援は「こども家庭センター」、18歳以降の支援は「健康福祉課」が担当します。

同じ課のため、円滑な引き継ぎが可能と考えます。

安心につながる個別避難計画策定を

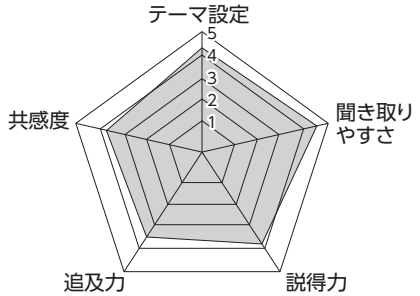
質問　**避難行動要支援者名簿の整備と個別避難計画の作成状況は。また、今後の進め方は。**

町長　防災担当と福祉担当が連携して対象者の名簿を整理しています。医療の必要性や障がいの程度等を踏まえ、優先度の高い方から順次作成していきます。

質問　**計画の完成までには時間を要します。「災害時に誰が助けてくれるのか不安」との声も聞いています。当事者や家族と災害時の不安や必要な支援を話し合うことが、安心感につながり、計画づくりの第一歩になるのでは。**

町長　本人や家族の不安を和らげるアプローチを検討していきます。民生委員が年1回実施している高齢者世帯等の訪問の際に、災害時の困りごとなども聞き取ってもらう方針です。





質問　**計画作成後は、関係者と共有し、防災訓練などで確認する必要があるのでは。見直しを含め実効性を高めるための考えは。**

町長　本人や家族の意向を確認し、関係機関と連携しながら個別のケースに応じた避難訓練を行い、内容を検証・見直していく考えです。

片山（かたやま）兵衛（ひょうえ）議員

「個別計画は作成できる人から作ったら。」「早口だった」
「支援のあり方？　ひきこもり支援＞避難支援」

支援が必要な子どもへ充分な教育環境を

教育長　人的体制の強化に向け前向きに検討します



PTAによる登校見守り。子どもたちの安心を地域で支えています

特別支援教育の体制拡充は

質問　**北野小学校では特別支援学級の児童が36人、全校児童の20・7％を占めています。**

授業中の離席や器物破損、トイレの汚損、いじめ、授業妨害なども把握されています。

現在の人的体制で十分でしょうか。

教育長　北野小学校には学習支援員3人、特別支援教育支援員4人を配置し、大学生の学習支援サポーターも重点配置しています。しかし、現状に照らすと十分とは言い難く、現場の負担も大きいと受け止めています。

質問　**特別支援教育支援員4人の勤務は1日4時間、午前中のみとなっています。子どもたちは午後も学校で過ごしている以上、午後まで支える体制が必要では。**

教育長　校長からも勤務時間の延長についての要望を受けています。

現在の状況を鑑みても勤務時間の延長は必要です。

教職員の負担軽減と子どもたちの学びを保障する観点から、予算面も含めて町部局と協議していきます。

すべての児童生徒が安心して学び、必要な支援を受けられる教育環境は整っているでしょうか。また、現在の鷹栖町の学力水準をどのように捉えていますか。

教育長　学習支援員の配置など、環境整備は着実に進んでいます。

学力面では着実に向上が見られ、北野小学校では、全国学力・学習状況調査で国語・算数ともに昨年より大幅に伸びています。

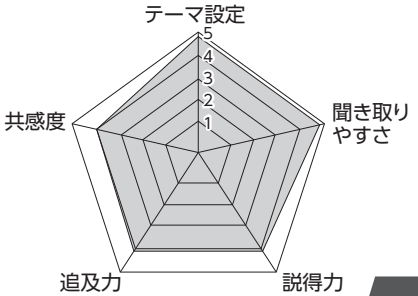
地域全体で支える体制づくり

質問　**専門家を招いて支援員に子どもへの適切な関わり方を学ぶ研修をさせる考えはありますか。**

教育長　支援員のスキル向上は重要です。今後は北野小にとどまらず、町内全ての小中学校の支援員を対象とした研修の実施を検討していきます。

質問　**学校内だけで抱え込まず、課題を保護者や地域と共有すべきです。学校運営協議会などと連携し、地域全体で子どもを育てる仕組みが必要では。**

教育長　学校現場の努力だけでは対応しきれない厳しい状況にあります。決して学校任せにすることなく、教育委員会も伴走しながら、地域との連携を一段と深めていきます。





斉藤（さいとう）　哲子（てつこ）　議員

ひとこと　「本当に、いろんな人に聞いていただきたかったです。」「PTA・地域etcの協力、大切さ　共感致しました。出来る事、私達もしていきたいです。」

鷹栖高校の存続へ、新たな魅力づくりを

教育長 探究特化型・学び直し高校への転換を進めます



道北バス本社を訪問し、減便路線の復活を要望しました

来年度の新入生が20人未満となれば再編整備へ重大な影響が懸念されます。道教委への要望内容と今後の見通しは。

教育長 7月28日に道教委へ要望書を提出し、地域事情に配慮した慎重な判断を求め、道教委側も地域事情を考慮すべきとの認識を示しました。2029年度の再編整備は見送られましたが、厳しい状況が続くことに変わりはないと受け止めています。

新たな高校像と魅力向上について

質問 基礎学力の定着や学び直しを支える「アンビシャススクール」という先進的なモデルを存続に向けた選択肢の一つとしては。

教育長 現在、探究特化型や学び直しを軸とした高校への転換について道教委と協議を進めています。提案の理念には合致する部分も多く、有力な選択肢として捉えています。鷹栖高校への導入について、調査研究を進めます。

質問 介護職員初任者研修を修了し、福祉・介護分野へ進学・就職した卒業生が多くいるなかで、町内への就職や定着を後押しするため、給付型奨学金を新設しては。

教育長 既存の奨学金返済支援制度は鷹栖高校出身者の利用実績がないため、進路実態に即した支援を見極める必要があります。

福祉系学校への進学者に対する祝い金制度などを検討し、早ければ次年度から実施できるよう準備を進めます。

質問 路線バスの減便によって部活動などを諦める生徒も出ています。下校時町独自による送迎支援は導入できませんか。

教育長 校長と生徒2人とともに道北バス本社を訪問、減便路線の復活を要望し、前向きに検討するとの回答をいただいています。

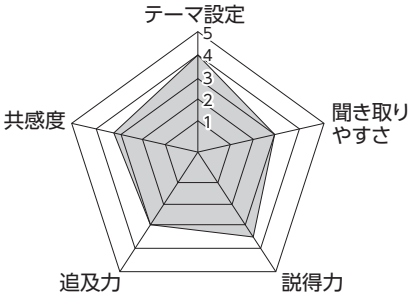
教育環境の将来像とその捉え方は

質問 今後の鷹栖高校を取り巻く教育環境の変化をどう捉え、どのような将来像を描いていますか。

教育長 小規模校だからこそできる「一人ひとりに寄り添う教育環境」を最大の強みとし、「学び直し」と「探究学習」を両輪とする高校への転換を図ります。高校や道教委との協議を継続し、来年度から着手できる施策は速やかに実行に移すとともに、今後も粘り強く存続要望を行っていきます。



阿戸（あと） 伸一（しんいち） 議員



「町独自とはなにか?と聞いて欲しい、また、その可能性」
「下校時のバス減便の理由は何だったのか？　もっと追及してほしかった」

暮らし・学び・地域の未来のために

総務文教常任委員会 活動レポート

現場を見て 声を聞き、 町の課題を探ります

聞く　見る　確かめる　議論する

総務文教常任委員会では、町の行政運営、防災・消防、学校教育、社会教育など、町民の暮らしに関わる幅広い分野を所管しています。現場を見るだけでなく、何を確認するのか、どこに課題があるのかを事前に整理したうえで、担当課への聞き取りや所管事務調査を進めています。



9/1 消防団のあり方を聞きとり



消防出初式

消防団の活動や組織運営について、消防署長から聞き取りを行いました。団員が活動しやすい環境や組織のあり方を考えていく必要があります。
今回は、現状や課題について確認し、今後の調査につながる論点を整理しました。



委員のひとこと
消防団活動を続けることができるような仕組みが必要です。

9/30 鷹栖小大規模改修工事 現地確認



夏休み中に工事が進んだことから、現地を確認。屋上工事は完了し、外壁は約６割、電気工事は約７割まで進んでいます。校内では床の張り替えやトイレ改修などが行われ、全体では約５割が完了しています。



委員のひとこと
床がきれいになり、校内全体が明るくなったように感じました。よかったです。

10/15 校内教育支援センターの状況は



８月24日に開設された校内教育支援センターについて、利用状況や運営の様子を確認しました。現在は、１日あたり２人程度が利用し、それぞれの状況に応じて学習したり、落ち着いて過ごしたりしています。



委員のひとこと
学校の中に、自分のペースで過ごせる場所ができたことはとてもよかったです。



次は、現場へ。

町内所管事務調査に向けて

10月から11月に行う所管事務調査に向け、事前に資料を確認し、調査のポイントを整理しています。
現場の状況や課題を確かめ、今後の議論につなげます。

2026年度の調査テーマ

- **公共交通**
  移動しやすい町を考える
- **ごみ問題**
  将来の処理体制を考える
- **学校**
  学びやすい環境を考える

介護・保育・農業の現場を視察

経済福祉常任委員会 活動レポート

経済福祉常任委員会では7月21日（火）町内所管事務調査を実施し、事業の進捗について説明を受け、事業の成果や課題を把握しました。
その後、委員会で協議の上、8月31日（月）に担当課ヒアリングを行いました。

委員会の判断

現時点で町へ意見書の提出を行う必要はないと判断しました。



今回の視察と聞き取りを踏まえ、現時点で町へ意見書の提出を行う必要はないと判断しました。

今後は今年度増設を予定している円山幼稚園の０歳児受け入れ環境についてさらに調査研究します。

特養 さつき会

大規模改修と人材の確保へ



施設の大規模改修が計画されています。居住環境の質向上のため、**町への財政支援を要望しています。**
今後の介護人材不足の深刻化を見通し、外国人介護人材が地域に定着するため、生活環境の充実を図る必要性を認識しました。

鷹栖保育園

統合から１年



現在、待機児童はいません。統合によるスケールメリットを活かし、余裕を持った職員体制を構築した上で質の高い保育を目指す必要性を認識しました。

新たな保育目標は「こども一人ひとりを大切に 保護者・地域から信頼される保育園」

データ駆動型農業

データを経営に活かす



集めた栽培データを活用し、収穫量の向上や経営内容の改善を図ります。
普及体制が課題です。集落支援員の増員や普及センター等の職員との連携強化を検討し、技術を導入しやすい環境を作る必要性を認識しました。

こども発達支援センター たーち

2027年　新施設建設へ



ことばや情緒だけでなく、身体機能や生活習慣を含めた包括的な支援の重要性を確認しました。
2027年度の新施設建設と発達支援の充実により、町として地域全体で子育てを支援する体制がさらに発展していくものと期待されます。

特集
議会研修レポート
2026年8月26日

土山希美枝先生に学ぶ
質問力を高める 議会力にいかす

住民の声を、議会の議論や政策につなげるには何が必要か。土山希美枝先生（法政大学法学部教授）を講師に、一般質問の基本と実践、広聴から政策形成へつなげる議会の役割を学びました。



一般質問を議会の資源に

ワークショップで問いを深める

広聴から政策形成へ議会の役割を考える

問いを政策につなぐ4つの視点

質問のその後につなぐ



一般質問で見えた課題を議員同士で共有し、委員会などで調査へ。議場でのやり取りを次の議会活動に生かします。

制度を確かめ改善を問う



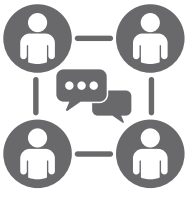
計画や事業が目的どおりに働いているかを検証する。そのうえで、必要な改善を具体的に問いかけます。

事実 分析 主張を分ける



「何が起きているか」「なぜ問題か」「どう変えたいか」を整理する。論点が明確になると、町との議論も深まります。

現場の声から始める



困っている人の声と、その課題に対応する行政の現場を確かめる。町の実情を知ることが、問いの出発点です。

学んだことを議会活動に活かしています

研修を終えてそれぞれの気づき

一般質問をした4人は何を持ち帰った？



次回は直接研修に参加したい

当日の研修には参加できませんでしたが、メモ等で内容を確認しました。**次回は直接研修に参加したい**と強く感じています。



現場の声を政策課題として整理

現場の声を丁寧に掘り下げ、**政策課題として整理**したうえで、教育委員会に問う。その視点の大切さを学びました。



課題を共有し同じ土俵に立つ

同じ土俵に立つため、課題を共有すること、町が策定した計画に基づき丁寧に確認していくことの重要性を再認識しました。



着地点を引き出して質疑を交わす

一方的に問うのではなく、**行政の考えや目的、着地点をまず引き出した上で質疑を交わす姿勢**を学びました。

研修の学び　委員会での実践につなぐ

総務文教常任委員会



事実と分析が重要。斉藤議員の一般質問を委員会で調査研究してはと言われ納得しました。（安達）

地域から届く課題を委員会で共有し、議論を深めていきます。（阿戸）

相手の考えも聞きながら合意形成する手法を学びました。（青野）

町全体の教育を見据える視点が大変参考になりました。（斉藤）

聞き取り手法やそのタイミングの助言を活かし、調査を前進させていきます。（片山）

経済福祉常任委員会



委員会での調査知見を集約し、一般質問などにつなげる手法について助言を受けました。

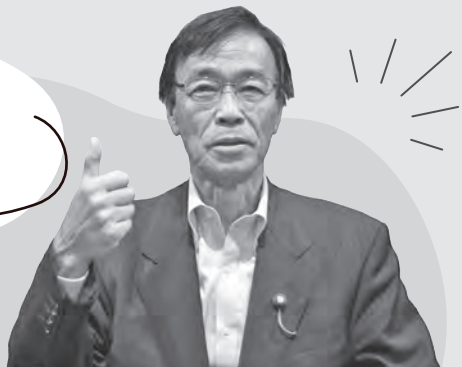
現在、当委員会では農業や介護、子育て支援などの調査を進めています。5月に町外で先進的な子育て拠点を視察し、今後は町内こども園での0歳児受け入れの現況視察を予定しています。

調査や行政とのやり取りで得た成果を町民へ発信し、実効性ある政策提言につなげます。

【議会公式YouTube】
研修の感想なども動画で配信しています

議長のひとこと

今回の研修で学んだことを議員同士で共有し、議会全体の活動に活かしていきます。



多様な学びを求める
児童生徒が多くなっています

2025 年の不登校児童生徒は中学生 18 人・小学生 10 人で、近郊と比較しても多い実態です。

2026年8月
校内教育支援センターを新設
中学校に校内教育支援センターを新設しました。
発達の特性に配慮し、安心できる落ち着いた環境を整備しています。

現状
9 人程度が利用可能
無理に教室に戻すための場所ではなく「もうひとつの居場所」自分のペースで休憩・学習を行い、人とのつながりを保つ空間です。将来的には小学生の利用も見通しています。

NEXT
2026 年度 不登校対策プラン作成へ
不登校は誰にでも起こりうることです。
子どもたちの学びと心を支える関係機関の支援の輪を目指し、不登校対策プランを作成します。

目標
「登校」ではなく「社会的自立」
登校だけを目標とせず、子ども一人ひとりの将来の「社会的自立」を支えることを目指します。

当時のやり取り

2025年3月定例会 斉藤議員の質問

198号 13頁



不登校児童生徒への対応は

議員からは、開設予定の校内教育支援センターの利用方法や、不登校児童生徒への対応について質問。

教育長はセンターの役割や、登校していない子どもへの対応の難しさを答弁しました。







校内教育支援センターは落ち着いて過ごせるよう照明なども配慮し、遮音性の高い壁で仕切られた個室があります。専門スタッフ1人が常駐します。

鷹栖高校＆議会
高校生の声から、まちの未来を考える



2026 年度は鷹栖高校との連携授業を本格化。授業を通じて主権者としての意識を学んでいます。

9/14

2年生

歴史の授業　鷹栖高校資格取得支援

鷹栖高校の未来に どんな「挑戦」を残す？



言葉で政治を変えようとした明治時代の自由民権運動を追体験。必要な資格は英語？パソコン？必要な資格についてグループで考え、理由を整理しながら提案し合いました。

1年生

公共の授業　地方自治 vol.2

声からつくる「町の提案」
（模擬一般質問）



前回学んだ議会の役割を踏まえ、日常の課題を発見し、議員と対話しながら「具体的な提案」にまとめました。自販機の種類や校内でのスマホの利用方法など提案がありました。

議会のうごき

議員も本気でテニピン！
世代をこえて、いいラリー



議員チーム 鷹栖高校チームの 若さに押され、 決勝Ｔ初戦敗退

9/23

テニピンとはテニスのおもしろさを誰もが味わえるように用具とルールをアレンジしたネット型ゲームです。競争と交流をテーマにした運動会のような テニピンカップは 幼児からご高齢の方まで 幅広い層が 参加していました。

2026年 7月1日 ▶ 2026年 9月30日

会議の開催状況

議員協議会	3回
議会運営委員会	1回
各常任委員会	11回
報酬特別委員会	2回

欠席状況

坂根	7/ 2	全道議員研修会
林川	7/ 2	全道議員研修会
斉藤	7/16	広報広聴
青野	8/21	報酬
阿戸	8/26	議員研修会

VOICE 皆さんの声

議会傍聴者やクイズ回答者の声をご紹介します。
孔雀草クイズの応募は６件　こども版は 10 件の応募がありました。

傍聴には行けないが・・・

議会を傍聴に行けないので、議会だよりを読んで理解しています。

議会から

議場に来られない方にも、議会で何が話し合われたのかが伝わる議会だよりを目指しています。これからも「読みやすく、分かりやすく」を大切にしていきます。

公共交通のこれから

高齢になり、自力で会場へ行けず老人会を退会する人もいます。買い物支援のように、地域活動への参加を支える移送サービスはできないでしょうか。

議会から

移動は、人とのつながりや社会参加にも関わる課題です。いただいたご意見は、今後の調査や議論の参考にしていきます。

議会から

11 ページでは一般質問に対するご意見を紹介しています。
ご意見を踏まえ、限られた時間を有効に使い、論点を深める質問となるよう研修や工夫を重ねます。また、SNS や動画、議会だよりなどで発信を続け、議員自身も傍聴につながる周知に取り組みます。

こども版に届いた声



いろいろなことが書いてあっておもしろかったです



難しかったけど、お母さんに説明してもらいました

こんなことばがむずかしい

「議事録」「ゼロカーボン」「地方財政」「スマート農業」

こども版議会報もウェブでご覧いただけます

議会から

一人でも読めるよう、もっと読みやすくわかりやすい「こども版」をめざします！

議会報を読んだらわかる くじゃくそうクイズ

問1　〇〇〇〇比率が 90% に近づくと財政のやりくりが難しくなります。

問2　たかま～るがある商業拠点内に〇〇〇〇〇ショップを整備します。

問3　鷹栖高校２年生は必要な〇〇について考えました。

《クイズ応募方法》
クイズの答え・住所・氏名・年齢を記載し、郵送、FAX、Eメール、または回答フォームからご応募ください。

①よかった記事
②こうしたらもっとよくなる　などアドバイスもお願いします。

《あて先》議会事務局（住所などは裏表紙に記載）
《しめきり》2026年11月30日(月)消印有効

《前回のクイズの答え》
問1 報酬　　問2 農業委員　　問3 校内教育

わたしの一言

鷹栖町に縁のある方に日頃の思いなどを自由に書いてもらうコーナーです。

手作りお菓子とおしゃべりでみんなを笑顔に



松田 礼子さん(北野地区)



９月のあったか食堂では約 50 人分のコロッケを揚げました。



味付けは松田さんに任せれば間違いなしです。

人との出会いとつながり

鷹栖町の住人になって 20 年が過ぎました。当初は家の周辺は若い世代の方々ばかりで、ほとんど交流はありませんでした。早く町に馴染みたく、人の集まるサークル活動に参加をしてみて、そこでお菓子作りの趣味がきっかけで月に 3 回ほどおしゃべり（お茶、ケーキ）を楽しむ場所「ほっとカフェ」でお手伝いをする機会もできました。

また、そこから新たな出会いも生まれ「実りごはん」「あったか食堂」の行事・ボランティア等にも仲間に入れていただき、いろいろな年代の方々と交流することが増えました。

自分の元気の源にもなっています。これからもまた新たな出会いとつながりを楽しみにしていきたいと思います。

取材担当者の一言



明るく、おしゃべり好きな松田さん。地域の活動にも参加し、いつも周りを楽しくしてくれます。手作りのお菓子もおいしく、笑顔とお菓子でみんなを幸せにしてくれる方です。



土曜日に一般質問

12月12日(土)・15日(火)

平日はなかなか議会を見に行けない――そんな方にも傍聴していただけるよう、12 月定例会では 12 月 12 日（土）に一般質問を行います。

町の課題やこれからについて、議員が町に直接問いかける一般質問。休日議会をきっかけに、議会をのぞいてみませんか。

●日程は変更になる場合があります。
●役場ロビーとはぴねすで中継を予定しています。

鷹栖町議会議会事務局

071-1292
北海道上川郡鷹栖町南1条3丁目5番1号
Tel 0166-74-3660　Fax 0166-87-2196
Mail gikai@town.takasu.lg.jp